

各都道府県介護保険担当課 御中

介護保険最新情報

今回の内容

- 「身体拘束ゼロシンポジウム」の開催について

(合計 本紙含め 4 枚)

vol. 102

平成13年2月26日

厚生労働省老健局介護保険課

* 貴都道府県内市町村に速やかにFAX送信いただきますよう
よろしくお願いいたします。

事 務 連 絡
平成12年2月26日

各都道府県介護保険担当課 御中

厚生労働省老健局計画課

「身体拘束ゼロシンポジウム」の開催について

介護保険法の施行に伴い、身体拘束が原則として禁止され、また、「ゴールドプラン21」においても、これを踏まえた質の高い介護サービスを実現することとされておりますが、その趣旨を広めることを目的として、来る3月27日(火)に「身体拘束ゼロシンポジウム」を社団法人全国老人保健施設協会の主催により開催することとしております。

つきましては、別添の開催案内を管内市町村に転送していただくとともに、この趣旨をご理解いただき、関係者の積極的な参加をお願いいたします。

身体拘束 ゼロ シンポジウム

●厚生労働省身体拘束ゼロ作戦 推進会議の審議状況について

- 井形 昭弘 (推進会議議長)
- 山崎 摩耶 (マニュアル分科会座長)
- 斉藤 正男 (ハード改善分科会座長)

●実例報告

- 有吉 通泰 (有吉病院院長)
- 浜村 明德 (介護老人保健施設伸寿苑施設長)
- 時田 智恵子 (特別養護老人ホーム湘南ベルサイド施設長)
- 鈴木 昭 (東京都高齢者施策推進室保健福祉部地域施設課長)

●パネルディスカッション

コーディネーター

山口 昇 (全国老人保健施設協会会長)

シンポジスト

- 笹森 貞子 (呆け老人をかかえる家族の会理事)
- 鳥海 房江 (特別養護老人ホーム清水坂あじさい荘副施設長)
- 外山 義 (京都大学教授)
- 中川 翼 (定山溪病院病院長)
- 吉岡 充 (上川病院理事長)
- 山崎 史郎 (厚生労働省老健局計画課長)

平成13年3月27日(火) 午後1時～5時

赤坂プリンスホテル新館2階クリスタルパレス
東京都千代田区紀尾井町1-2 TEL 03-3234-1111

「身体拘束ゼロシンポジウム」開催趣旨

平成12年4月からの介護保険制度の施行に伴い、抑制などの身体拘束は原則として禁止されました。これは、身体拘束をはじめとする利用者の行動を制限する行為が、利用者の人権を著しく侵害するばかりでなく、身体的・心理的にも悪影響を及ぼし、ADLの維持・向上を阻害すると同時にQOLの低下を招くことが明らかにされているためです。また、家族の方にとっても大きな精神的な衝撃を与えることにもなります。

実際、高齢者ケア施設においては、身体拘束を排除したことによって利用者の心身機能が著しく改善し、日常生活の自立に向けて大きな効果が期待できることが実証されています。

このような21世紀の新たなケアサービスの提供に向けて、国では平成12年度より「身体拘束ゼロ作戦」を積極的に展開していますが、この「身体拘束ゼロシンポジウム」もこうしたケアサービスの提供のあり方をケアサービス提供者だけでなく市民の皆さんと一緒に考えて、広く啓発し、高齢者のより豊かな生活を実現することを目的として開催されるものです。

ぜひ、市民、高齢者ケアサービス関係者の方々に多数ご参加いただき、皆さんとともに新たな高齢者ケアのあり方を考えていきたいと思えます。

「身体拘束ゼロシンポジウム」参加の申込方法

- *参加無料。ただし先着1,000名様。
- *下の申込票で下記までFAXでお申し込みください。登録受け付け次第、折り返し参加票（ハガキ）をお送りします。参加票はシンポジウム当日の資料引換券となりますので、当日は必ず受付にご提示ください。
- *参加申込票はコピーしてご使用ください。
- *なお、施設・団体等で複数の参加者がある場合には、必ずお一人様1枚の参加申込票でお申し込みください。
- *お申し込み・お問い合わせは下記までお願いいたします。

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4 YKBエンサインビル3階
 社団法人 全国老人保健施設協会
 FAX.03-3225-4856 / TEL 03-3225-4165

「身体拘束ゼロシンポジウム」参加申込票	
ご住所	<input type="checkbox"/> 勤務先 または <input type="checkbox"/> ご自宅 (〒 -)
貴施設・団体等名	
お名前	
お電話番号	<input type="checkbox"/> 勤務先 () - <input type="checkbox"/> ご自宅 () --